

日本一小さいトンボ 『ハッチョウトンボ(八丁蜻蛉)』

体長 17~21mm 程で極めて小さいトンボです。一円玉(直径 20mm)の中に頭から腹端までが納まる程の大きさです。(写真は、クローズアップしています)日本で一番小さなトンボで世界的にも最小の部類に入ります。雄は羽化直後、橙褐色ですが、成熟すると鮮やかな赤色になります。雌は茶褐色で腹部に黄色や黒色の横縞があります。幼虫(ヤゴ)も体長 9mm ほどと非常に小さいです。

名前の由来は、江戸時代に尾張の国(現在の名古屋市付近)の学者が「矢田鉄砲場八丁目」で発見したからという説もあります。

本州、四国、九州で生育していますが、その分布は局所的で、主として平地から丘陵地・低山地にかけての水がにじみ出している湿地や湿原などに生育しています。日当たりがよく、ミズゴケ類やサギソウ、モウセンゴケなどが生育し、ごく浅い水域が広がっているような環境を好みます。陶史の森は、ハッチョウトンボにとってとても適した環境なのです。近年、開発や環境汚染により著しくその数が減少しています。いつまでもハッチョウトンボが住み続けることができる陶史の森の自然環境を守り続けていきたいと思えます。



ハッチョウトンボ 雄



ハッチョウトンボ 雌

森の日記

蜂蜜とれるかな —ミツバチ教室—

6月16日(日)

人気教室のひとつ「ミツバチ教室」が梅雨の晴れ間に行われました。40組120名以上の参加者がありました。初めに東濃西部養蜂組合長の林さんからミツバチの生態や蜂蜜のことを聞き、その後、蜂蜜採取を行いました。初使用の透明な遠心分離器のハンドルを回して蜂蜜をいっぱい採取することができました。

採取後は、取り立ての蜂蜜をパンに付けて食することができました。「あまーい!、濃厚!」などと歓声が上がリ、新鮮な蜂蜜を味わうことができました。



教室のご案内

8月

川の生き物教室 (要申込、定員20人)

8月4日(日) 午前9時~11時30分

川の生き物の観察と飼育方法を学びます。

※濡れてもよい服装で参加してください。

夏の天体教室 (要申込、定員20人、雨天中止)

8月24日(土) 午後7時30分~8時30分

夏の天体を観測します。※集合場所 第2駐車場

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

8月25日(日) 午前9時~11時30分

夏の野鳥を観察します。

9月

草木染め教室(要申込 定員20名)

9月15日(日) 午前9時~11時30分

草や木を煮出して白い布を染めます。

※白布代金1枚100円

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

9月22日(日) 午前9時~11時30分

初秋の野鳥を観察します。

『陶史の森まつり』

9月7日(土) 予備日9月8日(日)

午前10時~午後2時 (自由参加)

※シャトルバス(陶史の森—セラテクノ)を利用してください。

